

早期肥大性に優れるカンショ 「ベニアズマフリー系88」

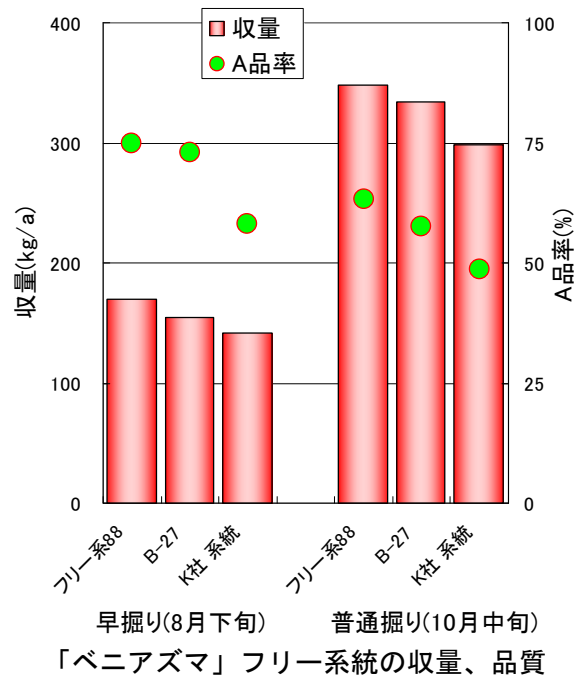
茨城県農業総合センター生物工学研究所
農業研究所

多収、高品質を目標にカンショ品種「ベニアズマ」のウイルスフリー化と系統の選抜を行い、「ベニアズマフリー系88」を育成しました。「ベニアズマフリー系88」は淡色黒ボク土での栽培に特に適しています。既存の系統である「B-27」と比較して早期肥大性が優れるため早掘りに適しており、多収であり、A品率、食味も同等以上です。

「フリー系88」の収量、品質

- ・ 「B-27」やK社の系統と比較して多収
- ・ 早期肥大性が優れるので早掘りにも向く
- ・ 普通掘りではM品、L品収量が他の系統より多い
- ・ 形状が優れ、A品率は早掘り、普通掘りとも「B-27」やK社の系統と比較して同等以上

※表層腐植質黒ボク土など肥沃な土壌では過肥大による形状の乱れを避けるため、施肥量、栽植密度などに留意することが必要



「ベニアズマフリー系88」の生いもと蒸しいも

「フリー系88」の食味

- ・ 蒸しいもの食味は「B-27」と比較して早掘りで同等、普通掘りで同等以上
- ・ K社の系統と比較して早掘り、普通掘りともやや優れる